



## 西浦みかん

「西浦みかん」は栽培品種が豊富で、7月から3月まで季節ごとの味を楽しめます。西浦柑橘共同選果場で熟練者の目と光センサーによる厳しい基準をクリアした高品質なミカンです。「西浦みかん寿太郎」は、農林水産省の地域農林水産物を守る「地理的表示(GI)保護制度」に登録され、そのブランド力で産地を守っています。

駿河湾と富士山を望む絶景で温暖な気候に恵まれた沼津市西浦・内浦・静浦地区は明治初期からミカンの産地として歴史があり、生産者が研さんを積み「西浦みかん」のブランドを守り続けてきました。現在では約350人が西浦柑橘出荷部会の部会員としてミカンを共同出荷しています。

沼津市西浦でミカンを栽培する杉山眞史さんは、幼い頃から農業に触れて育ちました。祖父の代から続くミカン栽培を途絶えさせたくなく、

## 技術と知識を磨き 高品質な「西浦みかん」を

いという思いから就農を決意。高校でも農業を学び、興津の果樹試験所で2年間柑橘の基礎知識や栽培技術を培い、24歳で就農しました。

張つている姿を見て自分も奮い立たされ、共に頑張ることができると笑顔が浮かべます。

栽培でさまざまな工夫をしている杉山さんも「台風が来た時には木が根ごと飛んでしまったこともある」と悲惨な様子を話します。「毎年必ず思い通りの結果とならないのはもどかしいが、手間をかけた分、結果で表れるのが農業の面白いところ。次に向けて挑戦がいがある」と農業の魅力を語ります。



## 営農アドバイザーから

西浦みかん営農経済センター 関 卓哉

杉山さんは青壮年部の西浦支部長を務め、「西浦みかん」の今後をけん引する一人です。

JAとして生産指導や収量予測、産地としての出荷基準を設け、高品質な「西浦みかん」を皆さまにお届けできるよう努めています。今後もJAと生産者が連携して産地維持に努めます。



# 農に生きる

~ Challenge to My Dreams ~

西浦みかん生産者

杉山 眞史さん(30)

沼津市西浦に在住。ミカン「寿太郎」、「青島」をメインに極早生や早生品種などを約2.5ヘクタールのほ場で栽培。24歳で就農し、西浦柑橘(かんきつ)出荷部会に所属。本年度、青壮年部なんすん地区本部西浦支部長を務める。